

1 議題 合唱コンクールを成功させよう

2 生徒の実態と議題選定の理由

(1) 生徒の実態 (男子17名, 女子17名, 計34名)

本学級は「明るい笑顔と団結力がクラスの力になる!」という学級訓を掲げている。この学級訓には、一人一人の明るさとたくさんの笑顔、そして団結力が、クラスにとって大きな力となり、共に一年間の学校生活を乗り越え、3月の修了式の日を、「4組でよかった」という思いで迎えられたいという思いが込められている。本学級の生徒は、遠足、体育祭を経て、クラスの団結を意識して行動することの大切さや充実感を得つつも、体育祭で練習の成果を発揮することができず、合唱コンクールを成功させたいという気持ちが強くなっている。しかし、初めての合唱コンクールであり、イメージがつかめず、どのように努力すればよいかわからないのが現状である。

(2) 議題について

合唱コンクールの学級曲、実行委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーが決定し、音楽の時間に練習が始まった。各学級での朝、放課後練習が開始となる期間が間近となり、学級の生徒の中には、「いつ、どこで、どのように練習するのか」を担当に尋ねてくる様子が見られるようになった。また、音楽の授業の様子や、「金賞を取りたい」、「合唱が上手になりたい」という気持ちを話してくる生徒も増え、学級での目標設定や、練習計画の立案が必要となってきた。

(3) 指導について

本学級の生徒は、学級会で話し合うことには慣れていない上に、初めての合唱コンクールでイメージがつかみにくい。そのため、昨年の合唱コンクールのビデオの視聴や、コンクールへの思いに関するアンケートを実施し、話合いで議論の焦点化を図れるようにした。また、話合いは学級委員を学級会実行委員とし、ワークシートやグループでの話合いを取り入れ、誰もが話合いに参加する雰囲気作りを工夫した。そして、話合いで決定した内容が実践できるよう、他クラスとの歌い合いや、リハーサルの実施などの工夫を取り入れ、学級目標達成への意識の向上と、練習への意欲的な態度の育成を図れるようにしたい。

3 評価規準と目指す生徒の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
評価規準	学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の生徒と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方について理解している。
目指す生徒の姿	・練習や本番への意欲を高め、よりよい合唱にしようと考えている。 ・合唱コンクールへの取り組みについて意欲的に話し合いに参加しようとしている。	・合唱コンクールに向け、他者の意見を聞き入れながら、よりよい案を考え出している。 ・話し合いの決定事項に従って、協力して練習や発表に取り組んでいる。	・自他の頑張りについて評価し、学級の団結の意義について理解している。

4 活動と指導の見通し

	活動内容	いつ	指導・支援	目指す生徒の姿と評価方法
話し合いの準備	合唱コンクールのビデオ観賞 アンケート (全員)	10/15 学活	・合唱コンクールについて知り、自分たちの学級はどうなりたいか考えさせる。	・練習や本番への意欲を高め、よりよい合唱にしようと考えている。(関心・意欲・態度) [観察・ワークシート]
	役割分担、議題決定、内容の検討 (計画委員会)	10/16, 17 昼休み	・話し合いの内容や順番、役割分担について助言する。	
話し	学級会 「合唱コンクールを成功させよう」	10/18 本時	本時の展開参照	
実践	合唱コンクールの練習	10/16 ~11/8 (朝・放課後)	・決定事項を教室内に掲示し、自主的に練習に取り組めるよう支援する。	・話し合いの決定事項に従って、協力して練習や発表に取り組んでいる。 (思考・判断・実践) [観察・評価カード]
	学年プレコン	10/29	・現段階での一番の合唱ができるようにし、反省を本番に行かせるよう助言する。	
	他クラスとの歌い合い 学年リハーサル (全員)	10/31~ 11/2		

	合唱コンクールへの参加（全員）		・これまでの練習を振り返り、目的をもって参加できるように助言する。	
振り返り	合唱コンクールを振り返り、今後の生活に生かす。	11/12 学活	・自分の頑張りや学級の団結が深まったことを評価し、仲間や協力してくれた多くの方々に感謝の気持ちを持てるように助言する。	・自他の頑張りについて評価し、学級の団結の意義について理解している。 (知識・理解) [観察・振り返りカード]

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

合唱コンクールの学級目標、練習の約束事を決定し、練習計画を立てることができる。

(2) 本時の展開

議 題	合唱コンクールを成功させよう	
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> ・学級練習が開始されるので、学級目標を決めて、みんなの気持ちを一つにする。 ・練習での約束事、練習の計画を立てて、学級練習にきちんと取り組めるようにする。 	
役割分担	司会（ ）， 黑板（ ）， 記録（ ）	
	話合いの順序	気を付けること
1	はじめの言葉	・大きな声ではっきりと話す。
2	学級会実行委員の紹介	
3	議題・提案理由の確認	・話し合う議題の内容を板書し、わかりやすく説明する。
4	話合い	・合唱コンクールで頑張りたい気持ちを話す。
	① 学級目標を決めよう	・個人で考えた後、グループで話し合っって黑板に書いてもらい、その後、全体で話し合っって決める。
	② 学級の約束を決めよう	・合唱コンクールの目標が達成できるような約束事をグループごとに黑板に書いてもらい、みんなで話し合っって決める。
	③ 自分の目標を決めよう	・最初に全体練習日を決定し、その後パートごとに集まって練習日を決める。
	④ 練習計画を立てよう	・決まったことを伝え、合唱コンクールに向けてみんなでがんばっていくように話す。
5	決まったことの発表	
6	先生のお話	
7	おわりの言葉	

(3) 指導上の留意点

話合いの順序	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
1	はじめの言葉	
2	学級会実行委員の紹介	
3	議題・提案理由の確認	・ビデオ観賞時の感想やアンケートを紹介し、合唱コンクールに向けた意識を高められるように支援する。
4	話合い	・目標は学級訓のようにわかりやすく覚えやすいものにするように助言する。
	① 学級目標を決めよう	・約束事は、より具体的な内容を決めるように助言する。
	② 学級の約束を決めよう	・練習計画は、全体練習とパート練習、音楽の授業がある日をバランスよく組み合わせるようにし、無理なく練習できるように助言する。
	③ 自分の目標を決めよう	・自分たちで決めた内容をみんなで守って、目標を達成できるように話す。
	④ 練習計画を立てよう	
5	決まったことの発表	・合唱コンクールへの取り組みについて意欲的に話し合いに参加しようとしている。(関心・意欲・態度) [観察, ワークシート]
6	先生のお話	・合唱コンクールに向け、他者の意見を聞き入れながら、よりよい案を考え出すことができる。(思考・判断) [観察, ワークシート]
7	おわりの言葉	

6 事後指導

- ・合唱コンクールに向けて計画に沿って練習し、学級で決めた約束事が守れているか、目標達成を意識して練習に取り組んでいるか、学級の様子を振り返る機会を設定する。
- ・他学級との歌い合い、プレコンクール、リハーサル等の実施を通じて、学級や自分自身を自己評価する機会を設定し、練習、本番への意欲向上を図るようにする。
- ・コンクール後に、学級や自分自身の合唱への取り組みについて振り返り、合唱コンクールで得た学級の団結を今後の生活へ生かしていけるように支援する。

「合唱コンクールを成功させよう」を実践して

1 授業改善への視点

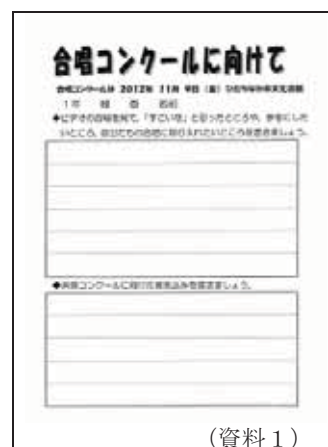
本学級のこれまでの内容(1)「学級や学校の生活づくり」に関する活動は、1年生ということで、ほとんどの場合、担任主導の活動になってしまうことが多かった。学級の組織作りや、遠足の約束事に関する話合いにおいて、学級委員が学級会で司会進行をするものの、計画委員会を組織して、事前に打ち合わせを行ったり、学級会での話合いの仕方の指導を行ったりすることは十分ではなかった。

そこで、教師の適切な指導の下に、十分な打ち合わせと計画によって、生徒中心の話合い活動が充実したものになれば、その後、生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようになり、学級活動の目標でもある「集団の一員として学級におけるよりよい生活づくりに参画しようとする自主的、実践的な態度の育成」が図れると考え、今回の実践を行った。

2 実践内容

(1) 昨年の合唱コンクールのビデオの視聴、アンケートの実施

学級の生徒は、体育祭で団結することの大切さを学び、充実感を得たものの、中学1年生にとっては初めての合唱コンクールであり、イメージが湧かない生徒が多いのが現状であった。そのため、どのような状態がすばらしい合唱なのか、取り組む姿勢はどうあるべきなのかに気付かせ、そして、「自分たちも頑張りたい、すばらしい合唱コンクールにしたい。」という思いを引き出すために、昨年の合唱コンクールの3年生のビデオを視聴した。ワークシート(資料1)を使用し、生徒の合唱コンクールへの思いを引き出すようにした。



(資料1)

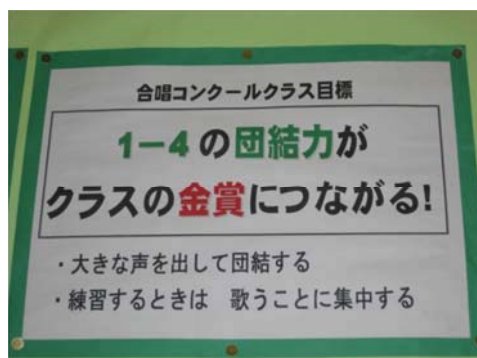
(2) 計画委員会(学級会実行委員)の実施

本学級では、計画委員を組織して話し合うことに慣れていないため、前後期学級委員を中心に、計画委員を組織して進めた。事前に計画委員を行うことで、学級会であらかじめ何を議題にするのか、どんな内容で話し合うのかを知り、準備しておくことができ、より生徒中心の話合いができるようにした。

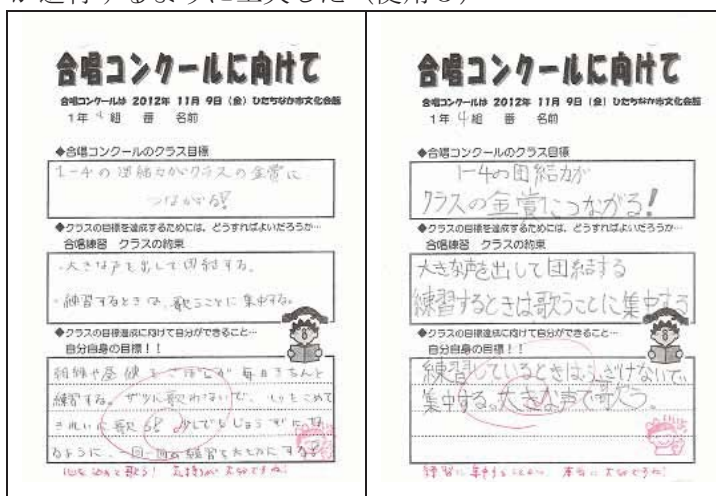
(3) 学級会(話合い)「学級の目標、約束事の決定、練習計画の立案」

① 学級の目標、約束事の決定

合唱コンクールに向け、学級の目標を立て、目標達成に向けて練習に励むことができるようにした。目標はわかりやすく、覚えやすいものにするようにし、学級目標に近い形式にした。約束事は、「合唱コンクールの目標を達成するためには、どうすればよいのか」という具体的にできる内容を立て、学級の生徒みんなが守って練習に取り組めるようにした。(資料2) また、ワークシートを用いて、わかりやすく順を追って話合いが進行するように工夫した(使用3)



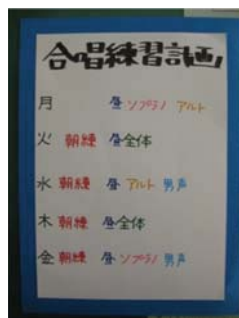
(資料2)



(資料3)

① 練習計画の立案

決定した学級目標を達成するために、いつものように練習するのか、練習計画を立てた。当初は、毎日練習するといった声も聞こえてきたが、3週間という長い期間であることを考え、無理のない練習計画を立てるようにした。決定した練習計画は表にして学級に掲示し、生徒が自主的に練習に取り組めるようにした。(資料4)



(資料4)

(4) 合唱コンクールに向けた学級練習

決定した学級目標の達成に向けて、練習計画に従って練習を行った。練習の方法やアドバイスは、適宜担任から行うが、練習は生徒中心に行われるようにした。パート練習では、パートリーダーが中心となって、CDラジカセの準備や片付け、声かけを行い、全体練習では、各パートリーダー、指揮者が中心となって練習を行った。

(5) 学年プレコンクール、練習試合 (歌い合い)、学年リハーサルの実施

学年で合唱コンクール本番を前に、プレコンクール (練習発表会)、学年リハーサルを行った。評価カード (資料5) を用いて、他の学級の合唱のよい部分を評価しつつ、自分たちの学級の合唱についての反省を行った。本番に向けて、練習計画や、練習への取り組む姿勢について、反省点や改善点が挙げられ、学級に伝えることで、自分たちのよりよい合唱に向けてさらに意欲的に取り組めるようにした。



(資料5)

(6) 振り返り活動の実施

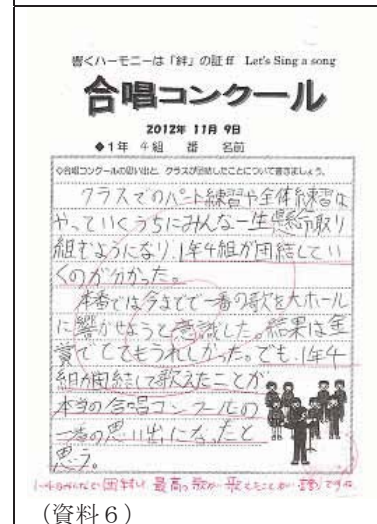
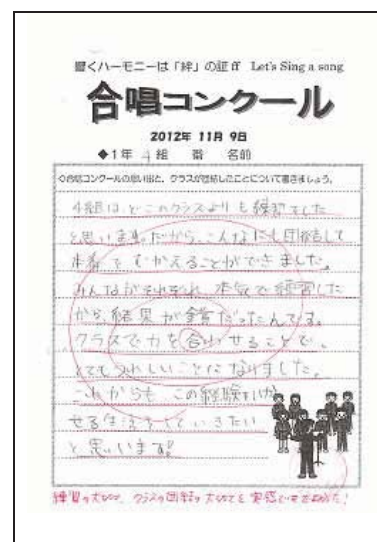
合唱コンクール終了後、カードを使用して振り返り活動を行った。自他の頑張りを評価し、学級の団結への意識について振り返った。(資料6)

3 成果と今後の課題

合唱コンクールについて知る活動を行い、計画委員を組織して話合いの準備をするなど、計画的に進めたため、その後の実践である練習、本番への取り組みに関しては、生徒の意欲の高さを感じることができた。また、練習の際に、目標や約束事を意識して取り組んだり、生徒同士でしっかり練習することを呼びかけたりする姿も見られた。3週間という長い練習期間のため、練習意欲が低下することもあったが、教師側の助言や、生徒が互いに声を掛け合うことで、「自分たちで決めたこと」という意識の下、朝、昼休みの練習について、他学級が練習していない時間でも取り組んでいた。

コンクール後の振り返りカードからは、練習を経て学級が団結していく様子を感じられたことや、目標を達成したこと、学級のみんなで団結して歌えたことへの喜びが綴られていて、本活動のねらいを十分に達成できたと感じられた。

今後の課題としては、日頃から学級会に向けて、計画委員を組織し、生徒による自主的な学級活動を進められるようにしていきたい。話合いに慣れていない生徒も多く、教師側の十分な支援も必要である。生徒主体の話合い活動が円滑に進められるようになれば、その結果、生徒の学校生活における自発的、自治的な態度が育ち、「自分たちのクラスをよりよいものにしていきたい」という思いをより強くさせることが可能であると考えられる。



(資料6)